
サウンドオブ☆ハングリーな狼たち

りー・ノω

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

サウンドオブ☆ハングリーな狼たち

【Nコード】

N1174I

【作者名】

りー・ノω

【あらすじ】

名作映画「サウンド・オブ・ミュージック」×ゲーム「餓狼伝説」シリーズ。才能は拔群だがどこかが抜けたエージェントのマリアは突然テリッパ大佐邸の家庭教師を言い渡される。そこには悪戯大好き七人姉妹が待ちわびていた…。マリアと姉妹達の壮絶な絡み（笑）をお楽しみ下さい↑※キャラ崩壊，性転換注意

プロローグ 闘い（笑）の鐘音（前書き）

作者はかなり頭の残念な高校生なので誤字脱字他，単語の使い方が違ってても其処は暖かい眼でスルーして下さい…（；ω；、）

プロローグ 聞いた（笑）の鐘音

鬱蒼で壮大な
高原のなか
歌う女が居た。

しなやかなブロードを
東風に靡かせながら

小鳥や小動物の
囀りと共に
その美しき歌声を
天へと響かせていた。

そんな中
突如鳴り響いたアラーム

「…やばっw」

急いで目的地へ急ぐ

彼女こと

ブルー・マリーアだった。

（以下，マリーア）

マリーア「：申し訳ありません，高原が私を呼ん（ry」
エージェントのボス「いやそれ原作と全く被るから！それにマリーア，弁解を訊きたいのではないの。あそうだ，君には…」

マリーア「まっまさか…クビ？（。D。ノ）ノ」

エージェントのボス「早とちりも大概にしないで…w君には新たな任務を受けて貰う」

エージェントのボス「テリップ・ボガード大佐の家に家庭教師にいきなさい」

マリーア「エージェントがカテキョー？聞いたことないわ！」

エージェントのボス

「だがしかし，テリップ大佐は現在7人の養女を預かっていまして，」

マリーア

「見るからにお嬢様で感じの方々が凶…」

エ（r y

「いや、とてもお転婆で今まで結構な数のカテキョ（笑）を困らせ挫折させてきた位だという」

マリーア

「もし挫折させられそうになったらそんな餓鬼共の手足振り伏せて何も出来なくしてやんよ（^ω^）」

エ（r y

「本当にコイツ大丈夫なのか…」（´|`、）

「」

こうしてマリーアは牝餓狼達の待つテリップ家へと向かうのであった……………

第？話 餓狼大佐，現る！（前書き）

エージェント家庭教師，ブルー・マリーア誕生！

第？話 餓狼大佐，現る！

流石にいきなり
道場破りという訳にも
いかないので，

マリーアは行きつけの中華料理店で働く友人シャンフェイ（香琲）
に相談していた。

彼女は看板娘として接客業もこなしているから，家庭教師としての
接し方に参考になるかもしれない。

シャンフェイ「ふうんカテキョかあ。私も何故か一回やったわ。め
んどいたりやありやしないわ。どんな御宅にお邪魔？」

マリーア「テリップ・ボガード大佐だけ？何か狂暴な牝餓鬼が沸
いているとか」

その瞬間、シャンフェイは双眸を剥き出した表情で此方をむいた。
シャンフェイ「…？（。ノ）ノそこだよ！まさかアンタの所にも
回ってきたとはね…恐るべし父娘餓狼達！！！！」

一体何人の

家庭教師を挫折させているんだ
あやつ等は

シャンフェイ「まあ健闘を祈るわ！」
マリーア「…ありがとう」

その時、魅力的な脚をした青いチャイナ服の女性が店に入ってきた。
「ニンニク醤油ラーメン特盛一つ！！」
シャンフェイ「あいよっー！！」

シャンフェイ「ほら注文入ったから、行きな。」
マリーア「うん！！」

こうしてマリーアは店を後にした……。

マリーア「ここに違いないわね。しかし解り易い家紋ね…これ。」

でかでかと赤地に白の☆が施された看板がマリーアの前に聳え立つ。

マリーア「取り敢えず呼鈴…」

マリーアは呼鈴を探していると、目の前の大きな門が咆哮を上げて動き出した。そして中からは燕尾服の大柄な男性。

？「何の用でしょう？」

マリーア「あなたがテリップ大佐ね！！マリーアです！宜しく願
いしま…」

フランコ執事「私は当家の執事で御座います。取り敢えず中へどうぞ。ガモーン！」

…執事と謂うよりガードマンだろ……（へー、）

中に入るとお金持ちならではの調度品が犇めいていた。

暫く眺めていると、

金髪の長髪を纏めた

きらびやかな格好の紳士が出てきた。——恐らく彼が——

マリーア「（次こそ本物ねこれで勝つる▽）テリップ大佐、よろしくお願い（ry……………!!）」

つづく（△。▽）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1174i/>

サウンドオブ☆ハングリーな狼たち

2010年10月10日06時27分発行